



七里っ子

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心
健康な体 郷土愛

道志小学校 学校だより 令和6年1月19日

文責：校長 佐藤龍文

演劇的手法を生かした表現力の育成

1月18日に令和のやまなし教育活動モデル事業の一環として表現力(コミュニケーション能力)の育成のためのワークショップを実施しました。講師としてお招きしたのは、東京でプロとして演劇活動をしているアートインAsibina(あしびな)という劇団の俳優さんやスタッフの方々です。この取組は演劇的な手法を使って表現意欲を高め、表現の仕方(話し合いを含めた)を学ぶことを目的としています。基本的な考え方として、優れた表現ができるように教え込むのではなく、子どもたち自身がワークショップで表現活動を体験する中で学んでいくことを大切にしています。子ども達が、心を開放しながら表現することの楽しさを感じたり、自分の気持ち(考え・意見)を積極的に伝えようとする意欲を高めたりできたらと考えています。第1回目は、ウッドブロックの音の数を合図に指定された動きを自由に表現したり、道志の河童伝説をテーマにした劇中の人物になって様々な動きを体験したり、グループで話し合っ、友だちのいない河童に友達ができそうな方法を考え、ジェスチャーを加えて教えてあげたりする活動等を行いました。低学年と高学年でそれぞれ1時間ずつ取り組みましたが、どちらも非常に盛り上がり楽しく賑やかな学習となりました。少年や河童等お話の役になり切った講師の先生方から投げ掛けられる言葉に素直な反応を返し、自然な表現ができていた様子を劇団の理事長さんからも褒めていただきました。1回目の子どもの様子を見てさらに期待感が膨らみました。このワークショップは、1/30と2/5(計3回)にも実施する予定です。



低学年(1~3年生)

高学年(4~6年生)

お笑い芸人さんから学ぶ表現の楽しさ

～ 高橋なんぐさん講演会 ～

昨年の12月12日にお笑い芸人の高橋なんぐさんの講演会を行いました。令和のやまなし教育活動モデル事業の一環として取り組んだもので、子ども達に表現の楽しさを感じてもらい表現やコミュニケーションへの意欲を高めてもらう目的で実施しました。高橋さんは、吉本興業の全国お笑いコンテストで優勝したり、バックパッカーで世界一周したりとユニークな経験をもっている方で、全国の学校を講演活動で飛び回っています。講演では、お笑いのテクニックと自身の経験を生かして、楽しく学びのあるお話をしてくださいました。子ども達の笑い



声でいっぱい講演会でした。高橋さんは、楽しいだけでなく自分を見つめるきっかけとなるお話もしてくれました。終了後に書いた子ども達の感想には、「世の中にはいろいろな見方がある」「辛いことがあっても必ず自分の味方がたくさんいる」「勝手に決めつけなくてよく考え、見方を変えることが大切」等の記述がたくさんあり、コミュニケーションをする上で大切なことや生き方について学んだ様子がうかがえました。